

株式会社 亀山電機 代表取締役 北口 功幸
〒850-0046
長崎県長崎市幸町2番17号 梅村組ビル3F



TEL 095-832-4330 FAX 095-832-4331 亀山電機

【株式会社亀山電機が長崎新聞社の特集記事 「ふるさと経済(経営者列伝)」で紹介されました】

2009年7月17日発行の長崎新聞「ふるさと経済(経営者列伝)」で「亀山電機」についての紹介記事が掲載されました。

亀山電機社長

北口 功幸さん(43)



「苦しいときも揺らがない高い志を持ち続ける」との決意を胸に事業を展開する北口社長
—長崎市幸町、亀山電機

シーメンスから技術提供

大村市出身。剣道は小学生で全国大会に出場。18歳まで続け、3段を取得。佐世保高校では学生会長を務め、凛然と責任が大きい仕事をした。と考えていた。卒業後、東証一部上場で空調衛生設備設計エンジニアとして就職。その後、3社を渡り歩いた。独立心が芽生えたのは25歳。可馬遼太郎の小説「龍馬がゆく」に触発され、龍馬の故郷・高知も訪ねた。31歳、新婚だったが、「自分を試し

たいと会社を辞めた。たまた一人で起業するのを妻は「人に迷惑を掛けないのならば」と認めてくれた。長崎市内でアパートを借り、そこに寝泊まりしながら、慣れない営業と経理もこなした。さまざまな工場の工程を自動化させる制御装置の設計が主力事業。業績や会社規模は順調に拡大したが、かじ取りに悩んだ時期もあった。即戦力として中途採用を進めながら、人材育成に手が回らず、辞める社員が相次いだ。二人でできることは限られる。夢や志を共有するスタッフと一緒に技術を磨き、素晴らしい会社をつくりたい。独立時のこの思いは今も変わらない。だからこそ、顧客満足度の向上はもちろん、社員や家族の満足度にもこだわ

龍馬の志、世界視野で

社員の入社月や誕生日に食事会を催し、結婚記念日に花束を贈る。会社の創立記念日には家族も招き、パーティーを開く。一方で、社員個々のやる気や能力、勤務成績を等級で評価し、給与査定に使う「人事考課」を昨春から拡充。組織の活性化を図っている。技術力を大手企業に認められることで、同業他社と差別化し、営業面での強みを得た。中でも、ドイツの電機大手シーメンスから昨年、ソリューション・パートナーに認定されたのは大きい。認定先は県内で唯一、全国で8社しかなく、自動制御装置分野で世界トップ級のシェアを誇るシーメンスの商品力や技術が優先に提供されている。世界的な不況下、どの企業も経営削減に追われている。取引先の派遣切りで、亀山電機もエンジニア社員数人の撤収を強いられた。逆に、県外の大企業からホームページを通じた新規の問い合わせも増えた。有名大企業でさえ、少しでも安い取引先を探している。技術があれば、地方の企業でもチャンスをつかめる。「亀山の名に恥じないよう、苦しいときも揺らがない高い志を持ち続ける。社長室に掲げた龍馬の写真にそう誓い、長崎で蓄積した技術を日本全国そして世界に売り込もうと挑戦している。(報道部・後藤敦)

メモ

亀山電機 1996年 10月創業。資本金2080万円。従業員70人。主 業務は自動化に関する制御装置や電気機器システムの開発など。設計製作、販売▽配電 ホームページ制作など。12期連続の増収となつた。2008年度の売上高は約6億円(前年度比8.9%増)。創業以来、毎月第3金曜日に掲載



ふるさと経済

www.kameyama-grp.co.jp

本 社 / 〒850-0046 長崎県長崎市幸町2番17号 梅村組ビル3F T:095-832-4330 F:095-832-4331
佐世保営業所 / 〒857-0877 長崎県佐世保市万津町7番6号 403号 T:0956-24-4003 F:0956-24-4003